

図表 4. 摂食・嚥下補助床の延べ症例数に対する、各原因疾患の割合（数値）②

【 歯科診療所 】	PAP					Swal load					ホッツ床					スピーチ エイド					
	PAP	PLP	Swal load	ホッツ床	スピーチ エイド	PAP	PLP	Swal load	ホッツ床	スピーチ エイド	PAP	PLP	Swal load	ホッツ床	スピーチ エイド	PAP	PLP	Swal load	ホッツ床	スピーチ エイド	
全症例数	12	14	8	5	8	30.0	41.2	28.6	28.6	11.1	30.0	41.2	28.6	28.6	11.1	30.0	41.2	28.6	28.6	11.1	
口腔咽頭腫瘍術後	6	7	4	2	1	30.0	23.5	35.7	28.6	11.1	30.0	23.5	35.7	28.6	11.1	30.0	23.5	35.7	28.6	11.1	
脳梗塞	6	4	5	2	1	10.0	11.8	7.1	0.0	0.0	10.0	11.8	7.1	0.0	0.0	10.0	11.8	7.1	0.0	0.0	
脳出血	2	2	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くも膜下出血	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
頭部外傷	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パーキンソン病	1	0	0	0	0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
筋萎縮性側索硬化症	0	1	0	0	0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
筋ジストロフィー	2	1	1	0	0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	0.0
重症筋無力症	2	1	1	0	0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	10.0	5.9	7.1	0.0	0.0	0.0
脳性麻痺	1	0	1	0	0	5.0	0.0	7.1	0.0	0.0	5.0	0.0	7.1	0.0	0.0	5.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
その他	0	1	1	3	7	0.0	5.9	7.1	42.9	77.8	0.0	5.9	7.1	42.9	77.8	0.0	5.9	7.1	42.9	77.8	
延べ症例数	20	17	14	7	9	※表示値は、合計症例数															
延べ症例数（全国）	591	498	199	550	145	※重複計上：装置（表頭）、原因疾患（表側）ともに複数回答のため、合計症例数には当該疾患以外の疾患に用いられる装置の数も含まれる。															

図表 5. 本来、補助具が必要であるにもかかわらず、作成されていない割合の推計

	全国 施設数	調査対象 全体	補助具作成「ある」				補助具作成「ない」				無回答	⑧必要な補 助具の内、 作成されて いない割合 (%) ※5			
			① 回答数		② 症例数 (平均)		③ 作成され た補助具総数 ※1		④ 現在作成 されていると 推計される補 助具総数 (全国)※2				適応患者「いる」		無回答
			① 回答数	② 症例数 (平均)	③ 作成され た補助具総数 ※1	④ 現在作成 されていると 推計される補 助具総数 (全国)※2	⑤ 回答数	⑥ 必要だが「⑦ 必要だが 作成されてい ないと推定さ れる数」※3 (全国)※4	⑦ 必要だが 作成されてい ないと推定さ れる数 (全国)※4	適応患者 「いない」					
歯学部附属病院	29	24	21	23.1	486	587	1	23	28	1	0	1	4.5		
一般病院歯科	1,768	221	55	3.9	213	1,704	64	248	1,983	84	10	8	53.8		
歯科診療所	67,798	1,479	35	1.3	47	2,155	161	216	9,911	1,263	9	11	82.1		

※1 ③ 作成された補助具総数：①×②

※2 ④ 現在作成されていると推計される補助具総数（全国）：③×[全国の施設数/調査対象数]

※3 ⑥ 必要だが作成されていないと推定される数：②×⑤

※4 ⑦ 必要だが作成されていないと推定される数（全国）：⑥×[全国の施設数/調査対象数]

※5 ⑧ 必要な補助具の内、作成されていない割合（%）：(⑦÷(④+⑦))×100

平成 20 年度 厚生労働科学研究費補助金

長寿科学総合研究事業

**摂食・嚥下障害の機能改善のための補助具に関する総合的な研究**

---

平成 21 年 3 月 発行

研究代表者

植田 耕一郎

日本大学歯学部摂食機能療法講座 教授

(東京都千代田区神田駿河台 1-8-13)

TEL 03-3219-8088 FAX 03-3219-8203

編集・制作

(株)医療産業研究所

(東京都渋谷区初台 1-49-1)

TEL 03-5351-3511 FAX 03-5351-3513

---